

## (1) キク

RPA

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数
褐斑病	ダコニール1000	TPN水和剤	M5		1000倍	100～300%/10a	発病前～発病初期	散布	6回以内
	トップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	1		1500～2000倍	100～300%/10a	-	散布	5回以内
黒さび病	マネージ乳剤	イミベンコナゾール乳剤	3		500～1000倍	0.2～0.3%/㎡	発病初期	散布	6回以内
黒斑病	ダコニール1000	TPN水和剤	M5		1000倍	100～300%/10a	発病前～発病初期	散布	6回以内
さび病	エムダィファア水和剤	マンネブ水和剤	M3		400～650倍	100～300%/10a	発病初期	散布	8回以内
白絹病	クロルピクリン	クロルピクリンくん蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り 3～5mL<圃場>1穴当り 2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
	クロルピクリン錠剤	クロルピクリンくん蒸剤	8B	劇	1穴当り1錠			土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴当り1錠処理する。<圃場>「1穴当り1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
	トクロール	クロルピクリン燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り 3～6mL<圃場>1穴当り 2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
白さび病	アンビフルアゾール	ヘキサコナゾール水和剤	3		1000倍	150～300%/10a	発病初期	散布	7回以内
	カナメアゾール	インビフルキサム水和剤	7	劇	4000～8000倍	100～300%/10a	発病初期	散布	3回以内
	コナアゾール	水和硫黄剤	"UN(I*)		800倍	100～300%/10a		散布	-
	サブロール乳剤	トリホリン乳剤	3		1000～1500倍	100～300%/10a	発病初期	散布	5回以内
	ジマンダィセンアゾール	マンゼブ水和剤	"UN(I*)		500～800倍	150～300%/10a	-	散布	8回以内
	ストロビフルアゾール	クレスキシメチル水和剤	11		2000～3000倍	100～300%/10a	発病初期	散布	3回以内
	フルト乳剤25	ブロピコナゾール乳剤	3		3000倍	100～300%/10a	発病初期	散布	3回以内
	トリアミン水和剤	トリアルミン水和剤	3		1000倍	100～300%/10a	発病初期	散布	5回以内
	トリアミン乳剤	トリアルミン乳剤	3		1000倍	100～300%/10a	-	散布	5回以内
	バシタック水和剤75	メブロール水和剤	7		500～1000倍	100～300%/10a	発病初期	散布	5回以内
	ビリカット乳剤	ジフルメトリム乳剤	39		1000倍	0.2～0.3%/㎡	発病初期	散布	6回以内
	マネージ乳剤	イミベンコナゾール乳剤	3		500～1000倍	0.2～0.3%/㎡	発病初期	散布	6回以内
	テリル乳剤	ミクロブタニル乳剤	3		3000倍	200～300%/10a	発病初期	散布	5回以内
立枯病	クロルピクリン	クロルピクリンくん蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り 3～5mL<圃場>1穴当り 2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
	クロルピクリン錠剤	クロルピクリンくん蒸剤	8B	劇	1㎡当り6錠  1穴当り1錠			土壌くん蒸<圃場>「1㎡当り6錠処理」地表面に所定量を散布処理する。  土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴当り1錠処理する。<圃場>「1穴当り1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)  2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
	トクロール	クロルピクリン燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り 3～6mL<圃場>1穴当り 2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
炭疽病	エムダィファア水和剤	マンネブ水和剤	M3		400～650倍	100～300%/10a	発病初期	散布	8回以内
灰色かび病	エムダィファア水和剤	マンネブ水和剤	M3		400～650倍	100～300%/10a	発病初期	散布	8回以内
半身萎凋病	クロルピクリン錠剤	クロルピクリンくん蒸剤	8B	劇	1穴当り1錠			土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴当り1錠処理する。<圃場>「1穴当り1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
べと病	エムダィファア水和剤	マンネブ水和剤	M3		400～650倍	100～300%/10a	発病初期	散布	8回以内
アザミヤ類	アファム乳剤	エマメクチン安息香酸塩乳剤	6		1000～2000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	5回以内
	スピノース顆粒水和剤	スピノサド水和剤	5		5000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	2回以内
	トクチオン乳剤	ブロチオス乳剤	1B		1000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	5回以内
	ハチハチ乳剤	トルフェンビラト乳剤	"21A(I*)	劇	1000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	4回以内
	ファインセーブフロアゾール	フロメキン水和剤	34	劇	2000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	2回以内
	モスピラン粒剤	アセタミプリド粒剤	4A		1g/株		生育初期	株元散布	1回

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数
アブラムシ類	アデント水和剤	アクリナリン水和剤	3A		1000倍	150～300g/10a	発生初期	散布	5回以内
	ウララ50DF	フロニカミド水和剤	29		5000～10000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	6回以内
	オリオン水和剤40	アラニカルブ水和剤	1A	劇	1000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	5回以内
	スミチオン乳剤	MEP乳剤	1B		1000～2000倍	100～300g/10a	-	散布	6回以内
オオタバコガ	アネキ乳剤	レピメクチン乳剤	6		1000～2000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	6回以内
	スピノース顆粒水和剤	スピノサト水和剤	5		2500～5000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	2回以内
	フェニックス顆粒水和剤	フルベンジアミド水和剤	28		2000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	4回以内
コガネムシ類幼虫	D-D	D-D剤	「-」→ 8A,8A	劇	15～20g/10a(1穴当たり1.5～2mL)		作付の10～15日前まで	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 是種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
	テロン	D-D剤	「-」→ 8A,8A	劇	15～20g/10a(1穴当たり1.5～2mL)		作付の10～15日前まで	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 是種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
センチュウ類	コロピクリン錠剤	コロピクリンくん蒸剤	8B	劇	1穴当り1錠			土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴当り1錠処理する。<圃場>「1穴当り1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
センチュウ類(ハカレセンチュウを除く)	カスタード微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回
	バースアミド微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回
ネグサレセンチュウ	D-D	D-D剤	「-」→ 8A,8A	劇	15～40g/10a(1穴当たり1.5～4mL)		作付の10～15日前まで	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 是種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
	テロン	D-D剤	「-」→ 8A,8A	劇	15～40g/10a(1穴当たり1.5～4mL)		作付の10～15日前まで	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 是種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
	ネマトリンエース粒剤	ホスチアベート粒剤	1B		20～25kg/10a		定植前	全面土壌混和	1回
ネコブセンチュウ	D-D	D-D剤	「-」→ 8A,8A	劇	15～20g/10a(1穴当たり1.5～2mL)		作付の10～15日前まで	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 是種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
	テロン	D-D剤	「-」→ 8A,8A	劇	15～20g/10a(1穴当たり1.5～2mL)		作付の10～15日前まで	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 是種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
ハスモンヨトウ	オリオン水和剤40	アラニカルブ水和剤	1A	劇	1000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	5回以内
ハダニ類	コテツアロアブル	コロルフェナビル水和剤	13	劇	2000倍	150～300g/10a	発生初期	散布	2回以内
	スターマイトアロアブル	シエノピラフェン水和剤	25A		2000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	1回
	テルスター水和剤	ピフェントリン水和剤	3A		1000倍	150～300g/10a	-	散布	3回以内
	ピラニカEW	テフフェンピラト乳剤	"21A(I*)	劇	1000～2000倍	150～300g/10a	発生初期	散布	1回

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数
ハモクノリノエ類	アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン水溶剤	4A		1000～2000倍	1ℓ/㎡	発生初期	灌注	5回以内
	スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン水溶剤	4A		1000～2000倍	1ℓ/㎡	発生初期	灌注	5回以内
	スピノセス顆粒水和剤	スピノサド水和剤	5		5000倍	100～300ℓ/10a	発生初期	散布	2回以内
マハモクノリノエ	オルトラン水和剤	アセフェート水和剤	1B		1000倍	100～300ℓ/10a	発生初期	散布	5回以内
	カスケード乳剤	フルフェノキサロン乳剤	15		2000倍	100～300ℓ/10a	発生初期	散布	3回以内
	ジエセス粒剤	アセフェート粒剤	1B		6～9kg/10a		発生初期	株元散布	5回以内
ミナキイロサミウマ	アデント水和剤	アクリナトリン水和剤	3A		1000倍	150～300ℓ/10a	発生初期	散布	5回以内
	オンコル粒剤5	ベソフカルブ粒剤	1A		9kg/10a		生育期	株元散布	3回以内
	カスケード乳剤	フルフェノキサロン乳剤	15		2000倍	100～300ℓ/10a	発生初期	散布	3回以内
	ベストガード粒剤	ニテンピラム粒剤	4A		2g/株		発生初期	生育期株元散布	4回以内
ミナキイロサミウマ	オンコル粒剤5	ベソフカルブ粒剤	1A		6～9kg/10a		定植時	植溝土壌混和又は株元散布	1回
					9kg/10a		生育期	植溝土壌混和又は株元散布	3回以内
	コテツロアール	クロルフェナピル水和剤	13	劇	2000倍	150～300ℓ/10a	発生初期	散布	2回以内